

令和6年度石川県石川中央保健所運営協議会 議事概要

- 1 日 時 令和7年2月27日（木） 14:30～15:40
- 2 場 所 石川県庁行政庁舎10階 1002会議室
- 3 出席者 委員10名及び保健所職員（別紙名簿のとおり）
- 4 議 題
  - （1）石川中央保健所の事業概要等について <資料1・資料2>
  - （2）令和6年能登半島地震への対応について<資料3>
  - （3）飲用に適する水の管理について<資料4>
  - （4）難病患者の災害時対応について<資料5>
  - （5）その他

5 主な質疑等

【委員】

地域住民等への健康教育を111回実施しているが、どのような教育を行ったのか。

【事務局】

例をあげると、管内の事業所に対して、健康診断結果の見方や生活習慣病策等に関する出前講座の実施やラジオ番組（コミュニティFM）で動物愛護や食品衛生などについての啓発を行った。

【委員】

犬猫の引継ぎが33頭となっているが、引継いだ後はどのようになるのか。

【事務局】

南部小動物管理指導センターへ引き継いだ犬猫は、人慣れさせた後、ホームページで飼い主を募集し、譲渡している。

【委員長】

ひきこもり社会参加復帰の説明があったが、保健所はひきこもり者と社会との仲介役といった理解でよいか。

【事務局】

保健所では、ひきこもりの相談や訪問などの支援を行っている。時には、市町と一緒に訪問し、医療機関に繋げることもある。

【委員長】

能登半島地震の際、石川中央保健所でもDMAT等の支援があったと思うが、うまく連携できたか。

**【事務局】**

石川中央保健所管内の避難所に派遣した保健師チームが活動をした際にJMATの方の助言をいただきながら避難者への対応を行うことができた。

石川中央及び南加賀保健所管内への2次避難が発生し、金沢以南保健医療福祉調整本部が設置された際にJMAT調整本部からDrが入り、調整をしていただき本部をスムーズに運営することができた。

以 上